所沢市 知っててよかった！ 保存版

洪水ハザードマップ

市内を流れる東川（平常時）と桜

トコろん

リスクを知ろう

裏面の地図で確認しましょう！

- 自宅や自宅の周辺に浸水被害があるかどうか、ある場合はどの高さまで浸水するのかを確認しましょう。
- 日ごろからよく行っている場所のリスクも併せて確認しておきましょう。
- 河川周辺にお住まいの方は、日ごろから水位を確認しておきましょう。

自宅や周辺の浸水のリスクなどを、あらかじめ確認できるハザードマップ。どのような備えが必要か、いざというときにどこを通ってどこに避難するかを考えるのに役立ちます。このハザードマップ以外でも、内水（浸水）ハザードマップや土砂災害ハザードマップも参考にしてください。市のホームページでご覧になれます。

発行・編集
所沢市 建設部 河川課
住所：〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1
電話：04-2998-9375
発行：令和4年（2022）3月

ハザードマップの効果は？

実際の災害時に、ハザードマップを事前に見ていた人は、見ていない人よりも

- ▶避難率が 10%高く
- ▶避難開始が 1 時間早かった

という調査報告があります※。事前のリスク確認が、命を守る行動につながるのです。

※東京大学片田研究室による平成10年東日本豪雨災害時の調査より

❶ 危険な場所からは避難、安全なら在宅避難

水害から身を守るために、気象情報や避難情報を入手しましょう。気象情報で大雨や台風の予報やゲリラ豪雨などの情報を入手したら、信頼できる情報源から最新の情報を継続して入手し、避難へ備えましょう。

避難の種類と流れ

「避難」とは「難」を「避」けることです。自宅への被害が少なく、土砂災害などの二次被害のリスクが低い場合は、自宅で待機（在宅避難）を検討しましょう。

自宅が河川の氾濫やがけ崩れなどによって倒壊する可能性の高い場所にある場合は、親戚・知人宅やホテル、避難所や車中泊などの「水平避難」を行いましょう。ただし、悪天候などにより外出することが危険な場合は、居住建物の上階へ避難する「垂直避難」で身の安全を確保します。

避難指示などが発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に水平避難を開始してください。

垂直避難	水平避難	待　機
安全に屋外への避難ができない状況において、屋内の２階以上に避難する。	その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難する。	自宅や安全を確保できる場所に留まる。

安全な避難先の確保（分散避難）

「水平避難」の避難先は、市が指定する避難所だけではありません。

安全な場所にある親戚・知人宅やホテルなども避難先として考えられます。複数の避難先を検討しましょう。

＜避難先の例＞

■親戚・知人宅やホテル
日頃から親戚・知人に相談し、市外や他県など異なる地域で複数の場所を検討しましょう。

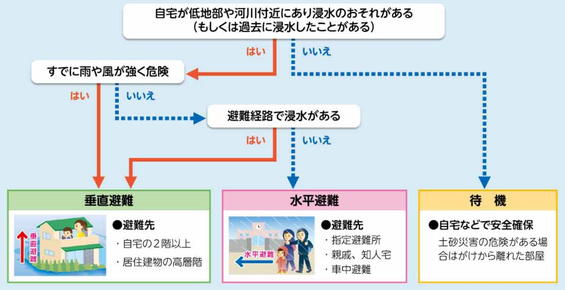
■安全な場所での車中避難
事前に安全な場所を確認したうえで、避難時には周囲の状況などを十分に確認しましょう。

短時間なら 車中避難

車で駐車場に避難し、事態が収まるまで車の中で過ごす「車中避難」。避難所に比べ、プライバシーが確保できます。事前に備蓄品を積んでおけば、とっさの避難にも対処できます。

車中避難先となる駐車場を探す場合は、強烈な雨風の音や揺れを防げるように、立体駐車場がおすすめです。

雨が強くなってきたとき、強い雨が予想されているときは、次のフローチャートを使って適切な避難行動を確認しましょう。



❷ 避難に関する情報

避難指示で必ず避難
必ずしも気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

水害時に入手する情報は？

気象情報とは
台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

指定河川洪水予報とは
水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。国、都道府県及び気象庁より情報が公表されます。

避難情報とは
避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。所沢市が発令します。市のホームページや防災行政無線などで確認しましょう。テレビやラジオ等の情報は、所沢市だけではなく、より広範囲な情報になります。

警戒レベル	状況	気象情報等	指定河川洪水予報	避難情報等	とるべき行動
5	災害発生又は切迫	大雨特別警報	氾濫発生情報	緊急安全確保	● すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。
〈 警戒レベル4までに必ず避難！ 〉					
4	災害のおそれ高い	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難指示	● 速やかに避難を!!! ● 冠水など、避難が困難になっているおそれがあります。 ● 浸水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。
3	災害のおそれあり	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	高齢者等避難	● 高齢者等は速やかに避難を!!! ● 浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、準備が整い次第、避難してください。
2	気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報		● ハザードマップ等で避難所や危険な区域を再確認しましょう。
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報			● 災害への心構えを高めます。

❸ 水害に関する情報の入手先

災害に対して適切に対応をするには、正確な情報の収集が必要です。テレビやラジオなど報道機関のほかに、ホームページやSNS、市役所からの呼びかけにも注意して、最新の情報を把握しましょう。

情報の収集方法を知ろう

市や気象庁が発信する情報

所沢市公式ホームページ
https://www.city.tokorozawa.saitama.jp
避難情報や避難所の開設状況など、市内を中心とする情報。洪水ハザードマップ等、過去の市の水害履歴も確認できます。

今すぐ登録！
ところざわ ほっとメール
https://tokorozawa-hotmail.jp/
防災や市政に関する最新情報をご登録いただいた携帯電話やパソコンに随時配信。
一度登録すれば、お手元のスマホ・携帯電話に自動で情報が入ってきます！

Yahoo!防災速報
スマートフォン用「Yahoo!防災速報」をインストールし、アプリ内で所沢市を地点登録している方に各種情報（避難、ライフライン、災害時の注意喚起など）が配信されます。

キキクル（危険度分布）
地域の土砂・浸水・洪水の危険度が表示されます。

河川監視用カメラ
○埼玉県設置（所沢市内）　河川のリアルタイム映像を見ることができます。
https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/kankyohozen/kasen/kasenkamera.html

○砂川堀雨水幹線水位監視システム
https://www.pref.saitama.lg.jp/d1502/suna/sunagawabori.html

緊急速報メール、エリアメール
事前登録は不要。市内にいる方のNTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話、スマートフォンに、氾濫危険情報や氾濫発生情報など一部の災害情報が一斉配信されます。

防災行政無線
避難指示などの避難情報は防災行政無線で呼びかけます。音声を確認できなかった場合、市のホームページやところざわほっとメール、防災行政無線専用ダイヤル（通話無料0120-100466）で確認できます。
※IP電話からの放送確認はできません。

ラジオ、テレビ、テレビのデータ放送
データ放送はテレビのリモコンのdボタンを押すと表示されます。警報や注意報などのほか、災害や避難所の情報、交通やライフラインなどの一覧を見ることができます。

風水害に関する問い合わせ先一覧

内　容	担当課	電　話	ＦＡＸ
防災情報、避難所、避難方法	危機管理室	2998–9399	2998–9042
洪水による浸水が想定される区域	河　川　課	2998–9375	2998–9153
土のう	道路維持課	2998–9168	2998–9152
浸水による家屋などの消毒	生活環境課	2998–9370	2998–9195
水害で生じた粗大ごみの収集	資源循環推進課	2998–9146	2998–9394

内水氾濫や土砂災害の情報もチェックしよう

市では河川洪水以外にも内水と土砂災害に関するマップも発行しています。

◆ 内水（浸水）ハザードマップ
下水道などの内水による被害箇所（直近10年間）や避難所を示しています。
問 上下水道局下水道整備課 ☎ 2921-1023 FAX 2921-1088

◆ 土砂災害ハザードマップ
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を示すとともに、土砂災害に関する情報伝達や避難の方法を示しています。
問 危機管理室 ☎ 2998-9399 FAX 2998-9042

❹ 記入して！マイ・タイムライン

マイ・タイムライン（私の避難行動予定）とは、大雨や台風接近などにより、風水害の危険性が高まっていると、自分身が各行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおくことです。

▲今なら！コンビニ・郵便ポスト・ATM・ライフライン

家族構成

家族の状況

周囲の状況

警戒レベル	発令	雨・風が強まるとともに強くなる	0時間前
警戒レベル5	発令	緊急安全確保	大雨特別警報
警戒レベル4	発令	避難指示	
警戒レベル3	発令	高齢者等避難	
警戒レベル2		大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報
警戒レベル1		台風予報	

	3日前（台風発生）	2日前	1日前	0時間前
台風予報 警戒レベル1				
大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2			大雨警報 洪水警報	
警戒レベル3 発令 高齢者等避難				
警戒レベル4 発令 避難指示				
警戒レベル5 発令 緊急安全確保				大雨特別警報

マイ・タイムライン

- 事前にできることを記入しよう（例）台風の情報
- 避難するタイミングを記入しよう
- 避難先を記入しておこう
- 逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

警戒レベル3 発令

- ●自宅が浸水する深さは［　　］m
- 河川との距離［　　］m
- ●最寄りの指定緊急避難所までの距離と時間
  指定緊急避難所［　　］
  距離［　　］m、時間［　　］分
- ●想定の避難先①［　　］まで［　　］分
- ●ペット避難に必要な持出品
  ［　　］

警戒レベル2

- □食料・飲料水
- □携帯電話
- □携帯電話
- □充電器
- □携帯ラジオ
- □現金・通帳・印鑑
- □マスク、消毒液
- □体温計
- □薬、お薬手帳
- □スリッパ
- □タオル
- □ビニール袋
- □毛布
- □携帯ラジオ
- □現金・通帳・印鑑
- □マスク、消毒液
- □体温計
- □薬、お薬手帳

警戒レベル1

- □食料・飲料水
- □携帯電話
- □充電器
- □携帯ラジオ
- □現金・通帳・印鑑
- □マスク、消毒液
- □体温計
- □薬、お薬手帳
- □スリッパ
- □タオル
- □ビニール袋
- □毛布
- □ペット（ペット用）

マイ・タイムライン ポイント

- ●自宅が浸水する深さは［　5　］m
- 河川との距離［　300　］m
- ●最寄りの洪水避難所までの距離と時間
  洪水避難所［　明峰小学校　］
  距離［　1200　］m、時間［　25　］分
- ●想定の避難先①［　親戚の叔母さんち　］まで［　30　］分
- ●ペット避難に必要な持出品
  ［　ペットフード、ケージ、リード　］

警戒レベル4

- ●我が家の避難スイッチ

警戒レベル5

- ●逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう

家の マイ・タイムライン

台風予報 警戒レベル1 1日前

大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2 2日前

大雨警報 洪水警報 警戒レベル3 1日前

高齢者等避難 警戒レベル3 2日前

避難指示 警戒レベル4 3日前

緊急安全確保 警戒レベル5 0時間前

必要なものをコピーして使用してください。

❺ マイ・タイムラインの記入例

マイ・タイムラインを作成しましょう

● 事前の確認
- ●自宅のある場所にはどのような災害リスクがあるのかを確認しましょう。
  （浸水想定区域内か否か、浸水の深さ、浸水継続時間）
- ●複数の避難所と避難経路を確認しておきましょう。いつ、どこに避難するのかを事前に決めておくことが重要です。

● 情報入手
- ●情報を入手することが迅速な避難行動につながります。防災行政無線やところざわほっとメール、SNSなど複数の情報入手の手段を持っておいてください。

● 早めに避難
- ●市から警戒レベル3または4が発令されたら速やかに避難行動をとってください。発令前でも自分のいる場所が危険だと感じた時には、避難行動を開始してください。

警戒レベル4までに全員避難!!

警戒レベル5（市町村が発令）はすでに災害が発生している状況です

マイ・タイムラインのシートは裏表紙にあります。家族の皆さんで話し合いながら書き込みましょう。

〈記入例〉

所沢家の マイ・タイムライン

家族構成							
父	所沢　史郎	42	子	所沢　美幸	12	祖父	所沢　太郎　72
母	所沢　花江	37	子	所沢　幸太朗	8		

周囲の状況：［例］周囲の道路は狭まくいやすい
自宅は想定浸水深は最大5m。
隣町の叔母の叔母さんちは浸水しない。
自宅周辺は冠水しやすい。

警戒レベル	発令	雨・風が強まるとともに強くなる	0時間前
警戒レベル5	発令	緊急安全確保	大雨特別警報
警戒レベル4	発令	避難指示	
警戒レベル3	発令	高齢者等避難	
警戒レベル2		大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報
警戒レベル1		台風予報	

	3日前（台風発生）	2日前	1日前	0時間前
台風予報 警戒レベル1				
大雨注意報 洪水注意報 警戒レベル2			大雨警報 洪水警報	
警戒レベル3 発令 高齢者等避難				
警戒レベル4 発令 避難指示				
警戒レベル5 発令 緊急安全確保				大雨特別警報

マイ・タイムライン

- 事前にできることを記入しよう（例）台風の情報
  - ・天気予報や台風の進路を調べる
  - ・飛ばされやすい物を家の中に入れる
  - ・家族の今後の予定を確認する
  - ・ハザードマップで避難経路を確認する
  - ・車にガソリンを給油する
  - ・持出品を準備する
  - ・親戚の叔母さんちへ連絡する（避難するかもしれないと）
  - ・携帯電話の充電（モバイルバッテリーの充電）
  - ・動きやすい服装に着替える（準備する）
  - ・大切なものは２階に移動する
  - ・河川の水位を調べる
- 避難するタイミングを記入しよう
  - ・避難開始
  - ・隣近所に声をかけながら、親戚の叔母さんちへ避難開始
- 避難先を記入しておこう
  - ・家族５人とペットで、親戚の叔母さんちへ　避難完了！
- 逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておこう
  （逃げ遅れた場合）
  命を守る最善の行動

マイ・タイムライン ポイント

- 持ち出し品の例
  - □食料・飲料水
  - □携帯電話
  - □充電器
  - □携帯ラジオ
  - □現金・通帳・印鑑
  - □マスク、消毒液
  - □体温計
  - □薬、お薬手帳
  - □スリッパ
  - □タオル
  - □ビニール袋
  - □毛布
  - □メガネ（老眼鏡）
  - □
  - □
- 家族の状況
  - ●自宅が浸水する深さは［　5　］m
  - 河川との距離［　300　］m
  - ●最寄りの洪水避難所までの距離と時間
    洪水避難所［　明峰小学校　］
    距離［　1200　］m、時間［　25　］分
  - ●想定の避難先①［　親戚の叔母さんち　］まで［　30　］分
  - ●ペット避難に必要な持出品
    ［　ペットフード、ケージ、リード　］
- 避難判断
  - ●我が家の避難スイッチ
    「レベル3」が発令されたら、親戚の叔母さんちへ避難する。

❻ 各家庭で事前に準備しておくこと

いのちや財産を守るために、一人ひとり、あるいは家族が協力し、普段から備えておく必要があります。安全性をチェックし、家の補強や側溝等の清掃を行っておきましょう。また、ライフラインが止まっても3日間程度（推奨7日間）自力で生活できるよう、備蓄をしておきましょう。

家屋の防災対策 チェックしましょう

- □ アンテナや煙突などの補強をする。
- □ ガラス窓は飛来物から守る工夫をする。
- □ 壁や基礎にひび割れなどがないか、シロアリ被害はないか点検する。
- □ プロパンガスボンベは固定する。
- □ 建物周囲の風に飛ばされそうな物を取り込む。
- □ 屋根瓦が飛ばされないようにする。
- □ 雨樋の掃除をする。
- □ ベランダの竿や小物を取り込む。手すりが壊れていたら修理する。
- □ 古い雨戸は、飛ばされないように補強をする。
- □ 浸水の危険がある場合、家財道具は2階や高い安全な場所に移動する。
- □ 近所の側溝や雨水ますの清掃をする。
- □ 土のうを用意する。

身近なもので浸水対策（簡易水のうの作り方）

ゴミ袋を２重にして中に半分ほど水を入れ、袋の口をしばると簡易水のうができる。

非常用持ち出し品・備蓄品の準備 チェックしましょう

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。

非常用持ち出し品は必要最低限なものをリュックサックなどにまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。

備蓄品は、ライフラインが復旧するまで自給自足するのに必要な物です。保存状態や使用（賞味）期限などを定期的に点検・交換しましょう。

最低でも3日間（推奨1週間）必要な食料・物資を用意しましょう。

家庭環境に応じて、必要なものを用意しましょう。

●乳幼児がいる家庭	ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつなど
●妊婦がいる家庭	清浄綿、新生児用品、母子手帳など
●要介護者がいる家庭	おむつ、障害者手帳、補助具などの予備、常備薬など
●ペットがいる家庭	ケージ、えさ、リードなど

非常用持ち出し品
- □ 飲料水、携帯食料（あめ、チョコレートなど）
- □ 携帯電話、携帯電話の充電器（電池式）
- □ 現金（公衆電話用に10円硬貨）
- □ マスク、消毒液、体温計
- □ 上履き（スリッパ、靴下など）
- □ ごみ袋
- □ 身分証明書（健康保険証、免許証、パスポートなど）
- □ 印鑑、クレジットカード
- □ タオル
- □ 薬・お薬手帳

備蓄品

飲料水
1日1人3リットル × 家族［　］人 × 3日 = わが家では［　］リットルの水を用意

食料
- □ レトルト食品
- □ インスタント食品
- □ カンパン

救急用品
- □ 各種医薬品（常備薬も）
- □ はさみ
- □ ピンセット
- □ 救急ばんそうこう

生活用品
- □ 懐中電灯
- □ 携帯ラジオ
- □ 予備の電池、バッテリー
- □ ライター・マッチ
- □ ローソク
- □ ロープ

調理器具
- □ ナイフ・缶切り
- □ 箸/匙食器・スプーン
- □ ラップ
- □ 包帯
- □ キズ薬
- □ 消毒液
- □ カット綿
- □ 布ガムテープ
- □ 軍手
- □ レジャーシート
- □ 笛（ホイッスル）
- □ マーカーペン・筆記具
- □ カイロ
- □ ビニール袋
- □ 燃料（卓上コンロ、固形燃料など）

衛生用品
- □ ウェットティッシュ
- □ ティッシュ
- □ 歯磨き用具
- □ タオル
- □ 生理用品

その他
- □ 上着類
- □ 下着類・靴下
- □ レインコート
- □ スニーカー
- □ 防災ずきん・ヘルメット

感染症対策
- □ マスク
- □ 消毒液
- □ 体温計

◆埼玉県ホームページ「イツモ防災」防災マニュアルブック

備蓄方法や災害時のトイレ対策などが紹介されてますのでご参考にしてください。

東京備蓄ナビも活用しましょう。

❼ いざ避難するときのポイント

大雨や台風が到達する前に避難を完了しましょう。雨の中での立ち退き避難が難しい場合は、自宅や近くの建物内で被害が大きそうな場所から一番遠い部屋でいのちを守るための最善な行動をとりましょう。

避難する際の注意点

正確な情報収集と自主的避難

ラジオやテレビ・携帯電話を利用し、最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
雨の降り方や洪水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをします。
その場合には、速やかに避難してください。

安全な避難経路での避難を

あらかじめ、自分たちで避難所までの避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。

家を出る前に確認を

避難する前に、ガス、電気、火の元を点検しましょう。避難先を確認し、親せきや知人にも避難する旨を連絡しておきましょう。

単独での行動は避けましょう

避難するときは、できるだけ単独での行動は避けましょう。ご近所にも声をかけ協力して、お年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。
運動靴を履き、動きやすい服装にしましょう。サンダル、長靴は禁物です。

浸水時の避難は危険です

浸水箇所の水は茶色く濁っており、側溝やマンホールのふたがはずれていても気づきません。また、人が歩ける水の深さは、男性で70cm・女性で50cmが限度とされています。やむを得ず浸水箇所を歩く場合は、長い棒を杖代わりにして足下を確認しましょう。

大雨により変容する危険な場所に注意

立体交差点（アンダーパス）
道路や鉄道の下を通るアンダーパスには水がたまり、通行ができなくなります。

低いところ（窪地）
アンダーパスの他、周辺より低くなっている道路も水がたまり、通行ができなくなります。

逃げ遅れたら高い建物に避難

万一、逃げ遅れて避難所まで行く余裕が無い場合は、近くの丈夫な建物のできるだけ上の階に避難して救助を待ちましょう。
建物の2階部分でも場所によっては危険な場合があります。

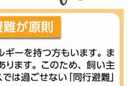
避難者で運営しましょう

- ◉ 避難所は被災された方が安全・安心に生活できる場です。自分たちの生活空間を良好なものとするために避難者が主体となって、助け合いながら運営することが必要です。
- ◉ 車いす利用者、目や耳の不自由な方など要配慮者がいる場合は、本人とコミュニケーションをとり、立場や意思を尊重した支援をしましょう。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底

検温カメラを備蓄していますので、使用しながら感染対策を徹底します。

- ● 新型コロナウイルス等の感染症の拡大を防ぐため自宅が安全であれば、できるだけ自宅に留まりましょう。
- ● 避難所へ避難する際には、マスクを着用する等、感染症予防対策をお願いします。
- ● トイレ使用後は清掃し、必ず手を洗いましょう。
- ● 避難所では必ずマスクを着用し、大きな声では話さないようにしましょう。
- ● ゴミは持ち帰りましょう。

ペットとの避難は同行避難が原則

- ● 避難する方の中には動物アレルギーを持つ方もいます。また、避難スペースには限りもあります。このため、飼い主とペットが同一の避難スペースでは過ごせない「同行避難」が原則となります。
- ● やむを得ず避難所に避難する場合は、リードやえさ、ケージ等を持参しましょう。
- ● いざというときにペットを預かってくれるかどうか、知人や親せきなど信頼できる方に相談してみましょう。